

報道関係者各位
(参考資料)

2012 年 3 月 27 日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、クラウドサービス「IIJ GIO」が大阪大谷大学の学内情報基盤システムに採用
～ IIJ GIO と Microsoft® Office 365 for Education、2 つのクラウドサービスの連携で、
セキュアな情報基盤システムを実現 ～

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、大阪大谷大学様(大阪大谷大学、本校:大阪府富田林市、学長:笠井 高芳)のキャンパスネットワークにおける情報基盤システムに、IIJ のクラウドサービス「IIJ GIO サービス」(IIJ GIO)が採用されたことを発表します。本システムは、2012 年 4 月に稼働開始の予定です。

IIJ GIO は、エンタープライズシステムに最適化された企業向けクラウドサービスです。お客様は、閉域網接続やプライベート IP アドレス空間を持ち込めるため、既存システムをそのまま IIJ GIO 上に移行し、お客様マシンの代わりに利用することが可能です。また、必要に応じてパブリッククラウドサービスと連携することができるため、既存システムにとらわれず、お客様の要件に適したシステムを実現することができます。

大阪大谷大学様では、メールサーバの老朽化と保守更新時期を機に、事業継続性の向上も視野に入れ、既存の情報基盤システムを、学内所有の環境からクラウド環境へ移行することを検討していました。また、就職活動などで、約 4,000 人強の学生、教職員がメールを利用しており、スマートフォンなどのスマートデバイスや携帯電話からもアクセスができ、いつでも、どこからでもメールを閲覧できる環境を、学生に提供することも課題でした。

今回の情報基盤システムを実装するにあたり、IIJ GIO 上に認証システム(Active Directory®)を構築しています。この認証システムは、大阪大谷大学様のプライベート IP アドレス空間内にあるため、学内の情報システムとも、インターネット上のパブリッククラウドともセキュリティを保ち、資産を持たないメリットを享受しつつ、シームレスに連携できます。メールシステムは、パブリッククラウドである日本マイクロソフト株式会社(日本マイクロソフト、本社:東京都港区、代表執行役 社長:樋口 泰行)の「Microsoft® Office 365 for Education」の Exchange Online を採用し、IIJ GIO 上の認証システムと Active Directory Federation Service^{(*)1}で連携させ、シングルサインオン^{(*)2}を実現しています。これにより、IIJ は事業継続を考慮した「止まらない、セキュアな情報基盤システム」を提供します。今回の採用にあたっては、IIJ GIO が、教育機関をはじめ業種業界を問わず多数の導入実績がある点を高くご評価いただきました。

IIJ では、今後とも IIJ GIO を通して、お客様の要件に適した最適なネットワークインフラを提供してまいります。

Microsoft®、Active Directory®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

^{(*)1} Active Directory Federation Service: ユーザアカウントおよびアプリケーションが異なるネットワークや組織に属している場合でも、ネットワークの内部およびインターネットにあるブラウザベースのクライアントから認証する機能。

^{(*)2} シングルサインオン: ユーザが一度認証を受けるだけで、許可されているすべての機能を利用できるようになるシステム。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 竹田、富永

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>